新技術概要説明資料（１／５）

		登録No.	1859
名称	イージーウォール	収受受付年月日	令和8年7月30日
		変更受付年月日	
副題	間知ブロック積工の胴込コンクリートを一体化し、施工性を向上させている1.79個/㎡使いの省力化ブロック	開発年	令和4年9月1日
区分	□1.工法　□2.機械　□3.材料　■4.製品　□5.その他	番号：	4
分類	1-2-1.河川／河川海岸		

キーワード				
■１.安全・安心	■５.公共工事の品質確保・向上		1	4
□２.環境	■６.景観		5	6
□３.情報化	□７.伝統・歴史・文化			
■４.コスト縮減・生産性の向上	□８.リサイクル	番号：		

国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）

開発目標（選択）					
■1.省人化	□5.耐久性向上	□9.地球環境への影響抑制		1	2
■2.省力化	■6.安全性向上	□10.省資源・省エネルギー		4	6
□3.経済性向上	■7.作業環境の向上	□11.品質の向上		7	
■4.施工精度向上	□8.周辺環境への影響抑制	□12.リサイクル性向上	番号：		

活用の効果	従来技術名：コンクリート積みブロック			
1.経済性	□1.向上（　%）　□2.同程度　■3.低下（57%）	番号：	3	57%
2.工程	■1.短縮（52%）　□2.同程度　□3.増加（　%）	番号：	1	52%
3.品質・出来型	□1.向上　■2.同程度　□3.低下	番号：	2	
4.安全性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
5.施工性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
6.環境	□1.向上　■2.同程度　□3.低下	番号：	2	
7.その他	□1.　（定義済みの値なし）	番号：		

開発体制		
■1.単独　□2(1)共同研究(民民)　□2(2)共同研究(民官)　□2(3)共同研究(民学)	番号：	1

開発会社		販売会社		協会名	
アスザック㈱		アスザック㈱			

問合せ先			
技術	会社名：アスザック㈱	住所：長野県上高井郡高山村大字中山981	
	担当部署：技術営業部	TEL：	026-245-1520
	担当者名：樋口　健汰	FAX：	026-245-5219
		mail:	higu-ken@asuzac.co.jp
営業	会社名：アスザック㈱	住所：長野県上高井郡高山村大字中山981	
	担当部署：広域河川チーム	TEL：	026-245-1520
	担当者名：江川　諒	FAX：	026-245-5219
		mail:	ega-ryou@asuzac.co.jp

（概要）

1）何について何をする技術なのか
・従来の積みブロックの控え厚をそのままに、胴込コンクリートを一体化した1.79個/㎡使いのブロックで、機械施工による近年の熟練工の人員不足対応、現場作業員の負担軽減・施工工程の簡略を目的とした新技術である。
・水平積みによる施工方法のため据付効率がよい。
・胴込コンクリートの打設が不要のため、生コンクリートの使用量を抑え、施工期間の短縮化が可能。
・即時脱型製法と粗面模様により、明度が低下し陰影を持たせた製品で、景観性を向上させる。
・即時脱型製法で生産能力は非常に高く、災害復旧等の特需でも安定した供給が可能。
・機械施工により工期短縮が可能。
・同一の製品で3分・4分・5分勾配の擁壁に対応。
2）従来はどのような技術で対応していたのか？
・0.1㎡/個の積みブロックに胴込コンクリートを打設して対応。
3）公共工事のどこに適用できるのか？
・控え35cmの河川護岸工事など。

新技術概要説明資料（２／５）

新技術名称	イージーウォール	登録No. 1859

（特　徴）

（長　所）
・一般的な従来工法のブロック積擁壁の胴込コンクリート部分もプレキャスト化し、施工性を向上させた省力化積みブロック製品である。
・控えを35cm以上確保し、従来のコンクリートブロック積工と同等の護岸･擁壁重量を構築可能。
・上下・左右をボルト等で連結しており胴込コンクリートを打設する程度の一体性を有している。
・3分勾配、4分勾配、5分勾配に対応。
・胴込コンクリートの打設が不要のため、生コンクリートの使用量を抑え、施工期間の短縮化と品質管理等現場負担の軽減が見込める。

（短　所）
・特になし

（施工方法）　303

1.　基礎工
2.　製品据付
　①基礎または下段のイージーウォールのインサートに長ボルト、穴にガイドピンを設置。
　②吊具(カップラー)をブロックに装着し吊り上げる(製品一個当り2個使用)。
　③下段から立ち上がった長ボルトとガイドピンが入り込むように据付。
　④長ボルトに角ワッシャー･M16ナットで上下連結。
　⑤ブロック本体の両サイドにあるインサートに横連結プレートをM16ボルトで左右固定。
　　※製品1個に付き、各2箇所
3.　吸出し防止設置
4.　裏込砕石投入
5.　2～4を所定の高さまで繰り返す
　　※必要に応じて水抜きパイプを設置。水抜き穴は製品中央を、ノックアウトを現場で叩いて開ける。

（施工単価等）	□1(1).歩掛りあり（標準）　■1(2).歩掛りあり（暫定）　□2.歩掛りなし	2
掲載刊行物	建設物価（　有　・　無　）○ 掲載品目（　　）	
	積算資料（　有　・　無　）○ 掲載品目（　　）	
その他（カタログなど）	（　　）	

イージーウォール　Aタイプ：21,900円/個
　　Bタイプ：15,400円/個

積算資料等

当社独自歩掛による。添付資料-1

施工管理基準資料等

出来形管理基準は、土木工事施工管理基準(添付資料-2)に準ずる。

新技術概要説明資料（３／５）

新技術名称	イージーウォール	登録No.	1859

（適用条件）

（適用できる条件）

適用できる条件
・重機が搬入可能で、従来の積みブロックが適用可能な箇所
・法勾配 3分、4分、5分勾配　直高 H＝5.0m程度まで

特に効果の高い適用範囲
・工期短縮、省力化を行う場合
・生コンクリートの運搬が困難な場所
・開度低下による景観性に特に配慮が必要な場合

（適用できない条件）

・従来の積みブロックが適用できない箇所。

（設計上の留意点）

・従来の積みブロックが適用できる箇所であること。

（施工上・使用上の留意点）

・施工重機が作業できるスペースが必要。
・ブロックの搬入と従来同様の施工用重機の設置が可能なこと。

（残された課題と今後の開発計画）

さらなる用途向上へ向けての製品改良

（実験等作業状況）

（添付資料）

実験資料等

その他

特　許	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　■4:無し	番号	4
		特許番号	
実用新案	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　■4:無し	番号	4
		新案番号	

評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	証明年月日	証明年月日
	制度等の名称	証明機関
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	明度証明書、全協明証第1988号
	証明年月日	令和5年1月
	証明機関	公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会
	証明範囲	5.0
	制度名、番号	テクスチャー証明書、全協テ証第0542号
	証明年月日	令和5年1月
	証明機関	公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会
	証明範囲	30

新技術概要説明資料（４／５）

新技術名称	イージーウォール		登録No. 1859
実績件数	公共機関: 4	民間:	7

施工実績

発 注 者	施工時期	工 事 名	CORINS登録No.
長野県 佐久建設事務所	2023年	令和3年度 防災・安全交付金(火山砂防)_(重点)工事	
長野県 上田建設事務所	2025年	令和7年度 県単河川改修工事	
長野県 小諸市	2025年	令和7年度起債緊急自然災害防止対策事業(準)中沢川護岸整備工事	
長野県 阿南町	2025年	R7年度 耕地災害復旧工事	
民間	2023年	個人邸造成工事	
民間	2023年	個人邸造成工事	
民間	2023年	民間造成工事	
民間	2023年	個人邸造成工事	
民間	2023年	個人邸造成工事	
民間	2025年	個人邸造成工事	

新技術概要説明資料（５／５）

新技術名称	イージーウォール	登録No. 1859



製品写真(ブロック)



製品据付



長ボルト設置



長野県佐久建設事務所
令和3年度 防災･安全交付金(火山砂防)_(重点)工事



長野県上田建設事務所
令和7年度 県単河川改修工事



小諸市
令和7年度起債緊急自然災害防止対策事業(準)中沢川護岸整備工事